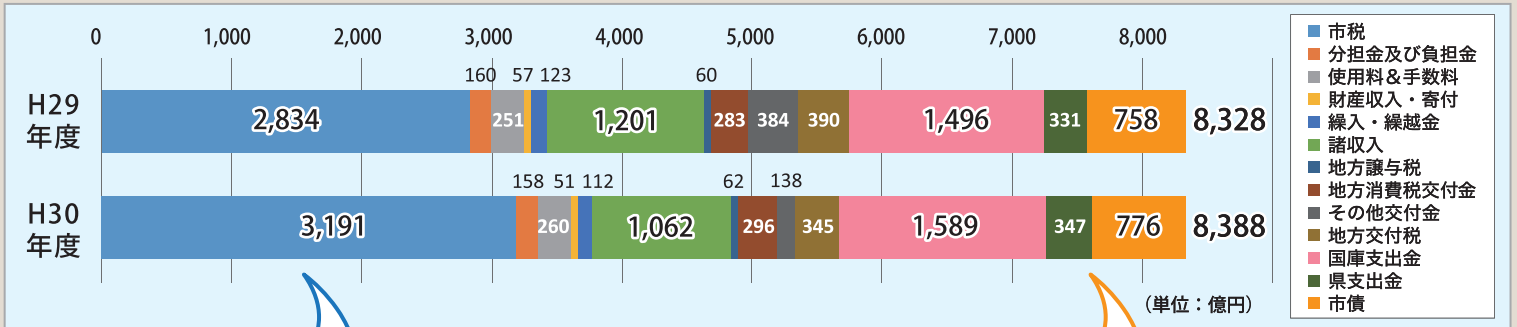




## 歳入

市立小中学校の教職員に係る権限移譲に伴ない個人住民税における税率を変更（県民税2%減、市民税2%増）したことにより市税収入が増加するところが特徴で、平成29年度を上回る規模となっています。



### ◆ 市民税の収入増について

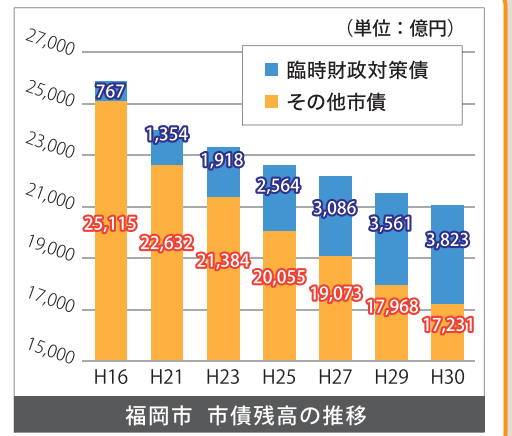
市税収入は、納税義務者数の増加に伴う個人市民税の収入増や新增築家屋の影響と土地評価額の上昇による固定資産税の増などにより、平成29年度を上回る収入を見込んでいます。法人市民税についても、企業収益の改善による増額を見込んでおりますが、この傾向は一部の業種に限られており、法人全体における増収には至っていないようです。

元気なまち、住みやすいまちを標榜する一方、特定の分野のみならず、市民全体の所得を押し上げる経済対策、雇用環境の改善や中小企業対策等が必須であると指摘しました。

### ◆ 市債について

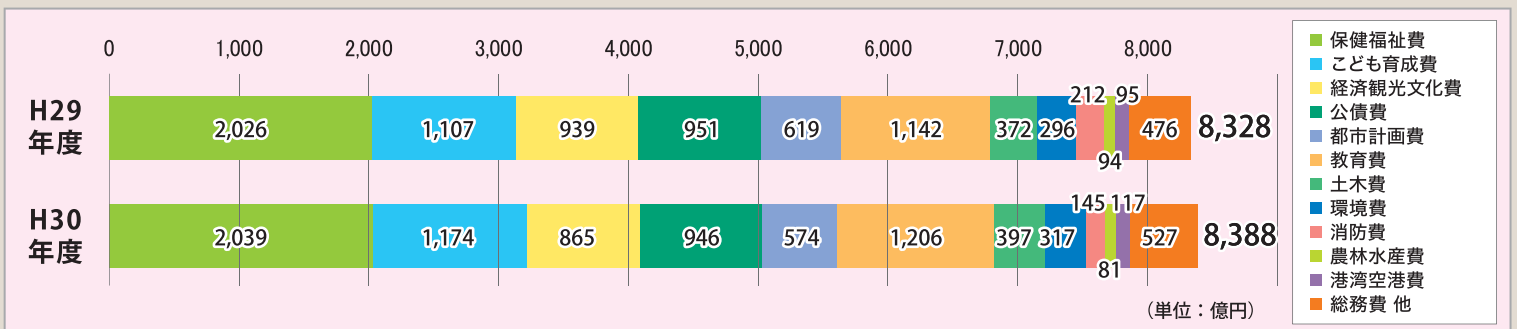
財政運営プラン（平成29年6月策定）の取り組みの方向性を踏まえ、当初予算における市債発行額を上回る公債費（歳出）により、累計市債残高の着実な縮減につとめています。グラフの通り、平成16年度をピークに一般会計の累計市債残高は減少しています。

市民一人あたりの市債残高（本市起債分）については、平成16年度の185万円から平成30年度では113万円まで縮減する予定です。



## 歳出

昨年度に引き続き医療・介護関連の繰出金・負担金を加えた社会保障関係費が増加する中、障がい児・者の施設給付費も含め、ニーズの高い子育て環境の充実に向けて、子ども育成費の増額は確保しました。



### H30年度『たんなところ』に取り組みます！

#### ● 子育て支援の充実

- ・待機児童の解消に向け、2,000人分の定員確保
- ・医療的ケア児保育のモデル事業をスタート

#### ● 健康寿命の延伸

- ・がん検診受診強化（ピロリ菌検査の導入）
- ・健康・医療・介護などにチャレンジするスタートアップ企業支援

#### ● 教育環境の充実

- ・小学校の外国語教科化を見据えた英語教育の支援
- ・中高における部活動指導体制充実に向けた指導員の配置

#### ● 文化・芸術・スポーツ活動拠点の充実

- ・総合体育館の整備・運営（平成30年秋 開館予定）
- ・福岡市美術館の改修整備（H31年3月開館予定）

#### ● MICEで賑わうまちづくり

- ・博多旧市街プロジェクト（趣のある道路への再整備など）
- ・第2期展示場関連のインフラ整備

#### ● 災害に強く、安心なまち

- ・自転車駐車場整備（博多駅筑紫口、六本松地区）
- ・総合ハザードマップの整備（デジタル化）
- ・lotを活用した河川水位観測の実用化に向けた検証
- ・消防局への「機動救助隊」の創設

#### ● 福岡市の産業の活性化への取り組み

- ・伝統的工芸品活性化事業（博多織777周年記念事業への支援）
- ・商店街における次世代担い手育成

#### ● 誰もが暮らしやすいまちづくり

- ・性的マイノリティ支援（パートナーシップ宣誓制度の導入、電話相談窓口の開設）

